

市にワクチン輸送ケース

トライアン相互が寄贈

塩尻市広丘郷原の精密板金加工業・トライアン相互が自社の技術を生かして新型コロナウイルス感染症ワクチンの輸送用ケース「バイアルホルダー」を製作し、30日に市に寄贈した。個別接種を実施する市内医療機関にワクチンを小分けして届けるための小型ホルダーで、徳田桂二社長が

市役所の小口利幸市長を訪ねて手渡した。

ふたと鍵が付いたアルミ製で幅14センチ、奥行き8センチ、高さ5.5センチ、厚み1.5センチ。ファインザーク製のワクチンが10本入り、振動を抑えるクッションを内部の上下に備え、細部に工夫を凝らした。ホルダーは30個を先行して届け、4月中には90個を追加

し計120個を贈る。

市は集団接種と個別接種を実施する計画で、市保健福祉センターがワクチンの保管輸送と集団接種の拠点となる。ワクチンを小単位で届ける市販ケースがなく苦慮していたところ、市振興公社を通じて相談を受けたトライアン相互が製作を引き

受けた。

機関は20を超え、医療機関別に複数のホルダーを使う考え。小口市長は「カスタマイズできる地元企業があるのは強み」と感謝した。徳田社長は「普段の仕事の延長線上でお役に立てれば。こういう機会をいただきありがたい」と話した。

(瀬川智子)

しおじり 18面



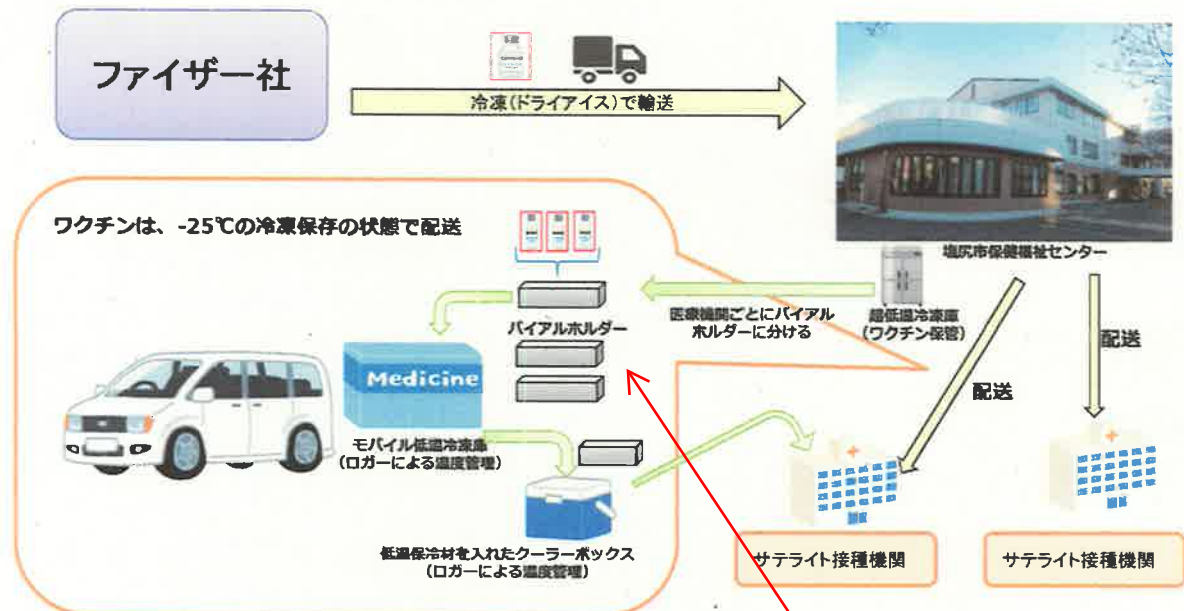
コロナワクチンの輸送用バイアルホルダーを寄贈する徳田社長

新型コロナウイルスワクチン配送

【令和3年3月30日資料】

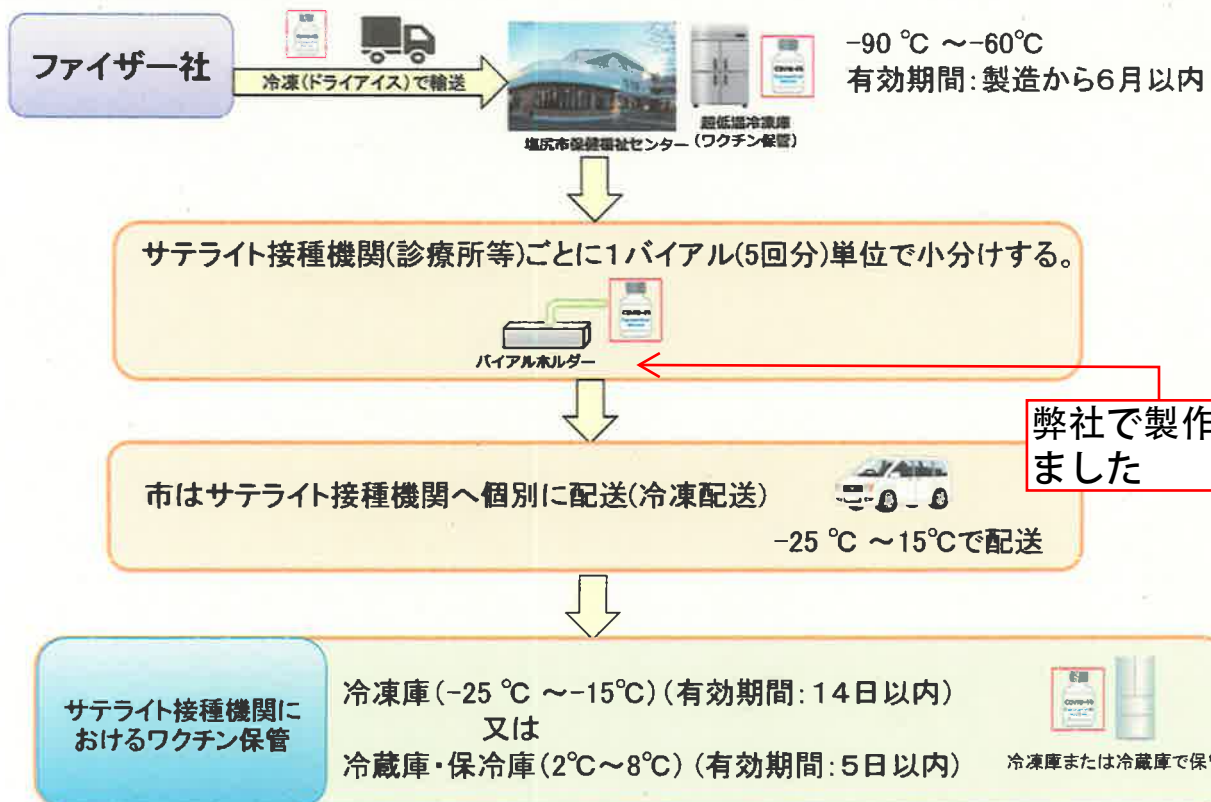
塩尻市 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種推進室

市保健福祉センターが基幹型接種施設となっており、保健福祉センターから市内のサテライト接種機関（個別接種医療機関）へ冷凍配送



弊社で製作しました

ワクチン配送の詳細



弊社で製作しました